

横浜市感染症発生動向調査報告 9月

《今月のトピックス》

- 麻しんの報告が2件ありました。
- 腸管出血性大腸菌感染症が多く報告されています。
- RSウイルス感染症の報告数が多い状態が続いています。
- 風しんの報告数が多い状態が続いています。
- 手足口病の流行警報が発令されています。

◇ 全数把握の対象

〈9月期に報告された全数把握疾患〉

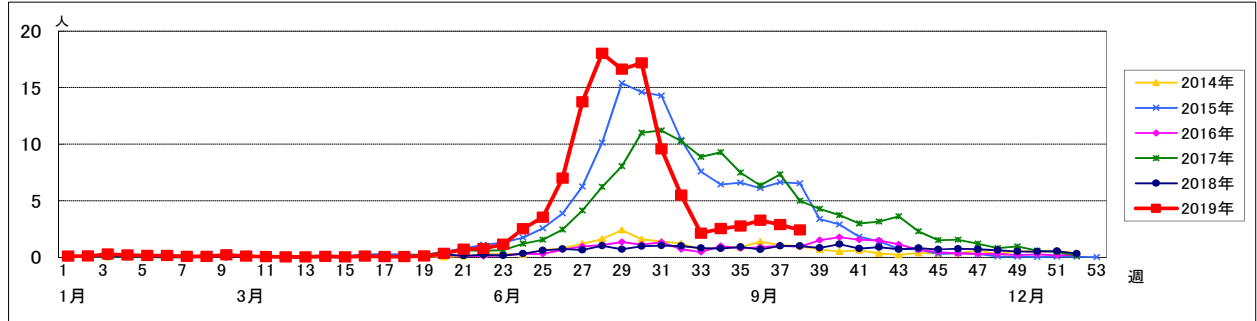
コレラ	1件	クロイツフェルト・ヤコブ病	1件
細菌性赤痢	1件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2件
腸管出血性大腸菌感染症	16件	侵襲性肺炎球菌感染症	2件
A型肝炎	3件	水痘(入院例に限る)	1件
デング熱	4件	梅毒	13件
レジオネラ症	4件	百日咳	24件
アメーバ赤痢	7件	風しん	17件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	5件	麻しん	2件
急性脳炎	1件	-	-

- 1 コレラ:インドでの経口感染と推定される報告が1件ありました。
- 2 細菌性赤痢:ミャンマーでの経口感染と推定される報告が1件ありました。
- 3 腸管出血性大腸菌感染症:O157が12件(うち無症状病原体保有者が4件)、O26が1件(無症状病原体保有者)、O121が1件、O不明が2件ありました。
- 4 A型肝炎:同性間性的接触と推定される報告が1件、異性間性的接触と推定される報告が1件、感染経路不明の報告が1件ありました。
- 5 デング熱:蚊からの感染と推定される報告が4件(タイ2件、フィリピン1件、ミャンマー1件)ありました。
- 6 レジオネラ症:肺炎型の報告が4件ありました。
- 7 アメーバ赤痢:腸管アメーバ症の報告が7件ありました。感染経路は国内での異性間性的接触が1件、海外での経口感染が3件(タイ2件、ベトナム1件)、不明が3件でした。
- 8 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:5件の報告がありました。
- 9 急性脳炎:10歳未満の病原体不明の報告が1件ありました。
- 10 クロイツフェルト・ヤコブ病:古典型CJDの報告が1件ありました。
- 11 劇症型溶血性レンサ球菌感染症:B群が2件ありました。
- 12 侵襲性肺炎球菌感染症:10歳未満の報告が1件(ワクチン接種歴あり)、70歳以上の報告が1件(ワクチン接種歴あり)ありました。
- 13 水痘(入院例に限る):10歳未満の臨床診断例の報告が1件(ワクチン接種歴不明)ありました。
- 14 梅毒:13件の報告(無症状病原体保有者4件、早期顕症梅毒Ⅰ期5件、早期顕症梅毒Ⅱ期4件)がありました。感染地域は国内12件、不明1件で、感染経路は性的接触が12件(異性間10件、異性間および同性間1件、詳細不明2件)でした。性別は男性9件、女性4件でした。直近6か月以内の性風俗産業の従事歴または利用歴がある報告は11件でした。
- 15 百日咳:10歳未満が8件(ワクチン接種歴あり6件、なし2件)、10歳代が2件(ワクチン接種歴あり1件、不明1件)、20歳代が3件(いずれもワクチン接種歴不明)、40歳代が5件(ワクチン接種歴なし1件、不明4件)、50歳代が2件(いずれもワクチン接種歴不明)、60歳代が3件(いずれもワクチン接種歴不明)、70歳代が1件(ワクチン接種歴不明)の報告がありました。
- 16 風しん:検査診断例16件、臨床診断例1件が報告されています。10歳未満1件(ワクチン接種歴あり)、20歳代4件(ワクチン接種歴あり1件、不明3件)、30歳代4件(ワクチン接種歴あり1件、なし2件、不明1件)、40歳代6件(ワクチン接種歴なし3件、不明3件)、50歳代2件(いずれもワクチン接種歴不明)でした。男性14件、女性3件でした。
- 17 麻しん:検査診断例2件が報告されています。いずれも40歳代男性で、ワクチン接種歴不明でした。

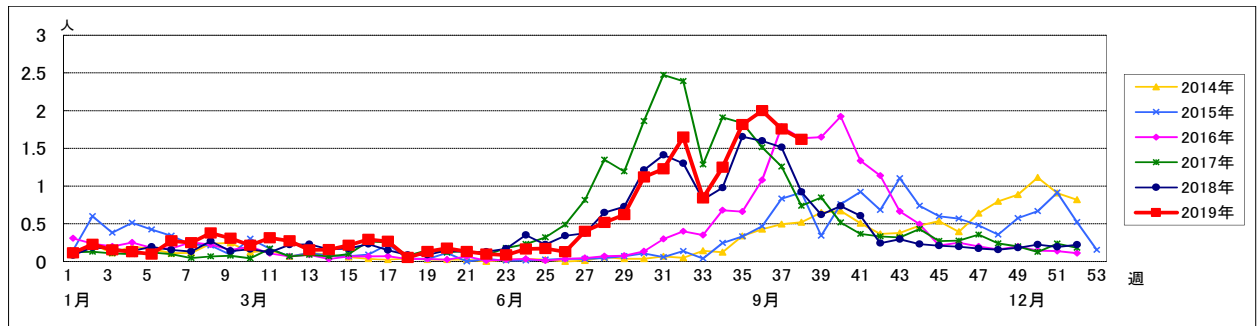
◇ 定点把握の対象

報告週対応表	
第35週	8月26日～9月1日
第36週	9月2日～9月8日
第37週	9月9日～9月15日
第38週	9月16日～9月22日

1 手足口病: 2019年は0.05から0.10で推移していましたが、第20週にて定点あたり0.35と増加を開始し、第26週にて6.98で流行警報発令基準値(5.00)を上回り、第28週で18.01にて最大値となり、第38週は2.42となっています。今年も過去に流行した2017年、2015年の同時期を大きく上回って推移しています。報告は少なくなっていますが、依然として流行警報は続いています(警報解除基準:2.00)。



2 RSウイルス感染症: 第27週にて定点あたり0.40と増加し、第35週で1.81にて最大値となり、第38週は1.62となっています。



3 性感染症(8月)

性器クラミジア感染症	男性:21件	女性:26件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性: 5件	女性:11件
尖圭コンジローマ	男性: 5件	女性: 3件	淋菌感染症	男性:10件	女性: 2件

4 基幹定点週報

	第35週	第36週	第37週	第38週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	1.25	0.33	0.33	0.33
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.33	0.00

5 基幹定点月報(8月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	11件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

9月に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点43件、内科定点13件、基幹定点15件、眼科定点5件で、定点外医療機関からは7件でした。

10月7日現在、ウイルス分離13株と各種ウイルス遺伝子29件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(9月)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎	イン フル エン ザ	咽 頭 結 膜 熱 (ア デ ノ 感 染 症 含 む)	胃 腸 炎	手 足 口 病	無 菌 性 髄 膜 炎	口 内 炎	発 疹 症	流 行 性 筋 痛 症	発 熱
インフルエンザ AH1pdm型		1	3								
インフルエンザ AH3型			3								
インフルエンザ B(ビクトリア)型			2								
アデノ 3型	1			1							
アデノ 41型					1						
ヘルペス								1			
コクサッキーA 6型						2					
コクサッキーA 16型						1					
コクサッキーB 3型							1 2				
Echo-11											1
パレコ 3型									1	1	
パラインフルエンザ 1型		1									
パラインフルエンザ 2型	1	1									
パラインフルエンザ 4型		1									
ヒューマンメタニューモ		2									
RS	1	10									
ライノ	1	2									
合計	1 3	1 17	8	1	1	3	1 2	1	1	1	1

上段:ウイルス分離数/下段:遺伝子検出数

〈細菌検査〉

9月の「菌株同定」依頼は、基幹定点から腸管出血性大腸菌2件、腸管病原性大腸菌1件、腸管毒素原性大腸菌1件、大腸菌3件、サルモネラ属菌1件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌5件、ナイセリア属菌2件、ノカルジア2件、放線菌1件となっており、非定点からは、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌7件、非結核性抗酸菌3件、劇症型溶血性レンサ球菌1件、肺炎球菌1件の依頼がありました。

保健所からは、腸管出血性大腸菌11件、カンピロバクター1件の依頼がありました。

「分離同定」に関しては、基幹定点からレプトスピラ2件、非定点から抗大腸菌LPS抗体3件、保健所からレジオネラ1件の検査依頼がありました。

小児科定点からは、A群溶血性レンサ球菌3件、百日咳菌1件の検査依頼がありました。

表 感染症発生動向調査における細菌検査結果(9月)

菌株同定	項目	検体数	血清型等
基幹定点	腸管出血性大腸菌	2	O157:H7 VT1 VT2 (2)
	腸管病原性大腸菌	1	O112ac (1)
	腸管毒素原性大腸菌	1	O24:H- ST1b (1)
	大腸菌	3	O166 (1)、O143 (1)、O153 (1)
	サルモネラ属菌	1	<i>Salmonella</i> Panama (1)
医療機関	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	5	<i>Enterobacter cloacae</i> (1)、 <i>Escherichia coli</i> (1)、 <i>Klebsiella (Enterobacter) aerogenes</i> (1)、 <i>Klebsiella pneumoniae</i> (1)、 <i>Klebsiella oxytoca</i> (1)
	ナイセリア属菌	2	<i>Neisseria gonorrhoeae</i> (2)
	ノカルジア	2	<i>Nocardia abscessus</i> (1)、 <i>Nocardia asiatica</i> (1)
	放線菌	1	<i>Rothia aeria</i> (1)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	7	<i>Enterobacter cloacae</i> (5)、 <i>Klebsiella pneumoniae</i> (1)、 <i>Escherichia coli</i> (1)
	非結核性抗酸菌	3	<i>Mycobacterium abscessus</i> subsp. <i>abscessus</i> (3)
	劇症型溶血性レンサ球菌	1	B群溶血性レンサ球菌 (1)
非定点	肺炎球菌	1	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (1)
	腸管出血性大腸菌	11	O157:H7 VT1 VT2 (3)、O157:H7 VT2 (2)、O157 VT1 VT2 (4)、O26:H11 VT1 (1)、O121:H19 VT2 (1)
	カンピロバクター	1	<i>Campylobacter jejuni</i> (1)

分離同定	項目	材料	検体数	同定、血清型等	
医療機関	定点	レプトスピラ	尿・全血	2	不検出 (nested-PCR) (2)
	非定点	抗大腸菌LPS抗体	血清	3	抗O157LPS抗体検出 (1)、 不検出 (2) (国立感染症研究所)
保健所	レジオネラ	喀痰	1	不検出 (1)	

小児科サーベイランス	項目	検体数	同定、血清型等
小児科定点	A群溶血性レンサ球菌	3	TB3264 (1)、T型別不能 (2)
	百日咳菌	1	不検出(LAMP、培養) (1)

【 微生物検査研究課 細菌担当 】